

## 会 議 録

会議名	令和6年度 第5回 星が丘地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時	令和7年2月22日(土) 午後1時30分～午後2時55分		
開催場所	星が丘公民館 コミュニティ室		
出席者	委員	13人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	4人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人、地域活力推進員1人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議 題</p> <p>(1) 星が丘地区の課題・情報共有について</p> <p>(2) 星が丘地区ふるさとまつり・ふれあいフェスティバル ～振り返りと今後に向けて～</p> <p>(3) 令和7年度地区まちづくりを考える懇談会の実施希望等について</p> <p>(4) その他</p> <p>4 閉 会</p>		

# 議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 議 題

### (1) 星が丘地区の課題・情報共有について

事務局から、星が丘地区の課題・情報共有について資料に基づき説明した。

<主な意見・質疑>

#### 【子ども会解散に伴う通学路の見守りについて】

岡本委員から以下のとおり補足説明がなされた。

- ・令和7年4月から登校班の廃止が決定した。
- ・子ども会の解散や保護者による見守りが難しい状況の中、地域の皆様の力添えを賜りつつ子どもたちの見守りを続けていきたいので、ご協力をお願いしたい。

○新1年生の4月～6月までの登校が一番危ない時期だと思うが、その期間は保護者が学校まで連れて行くのか。また、通学路は変わらないのか。

⇒○通学路は変わらない。基本的に1年生～6年生まで、保護者が責任を持って登校することになっている。入学説明会の時に、地域内の保護者同士で連絡先を交換してもらい、仲良し登校班のようなグループが作られるよう工夫をしている。

○千代田十字路の交差点では相模原交通安全協会が旗振りをしている。この地点に学童通学安全指導員の募集はかけないのか。

⇒○現在旗振りをしている交通安全協会は登録を考えていないのか。有償になるので登録した方が良いのではないのか。

⇒○登録すると当番制になってしまうため難しい。あくまでもボランティアとして旗振りをしたいと考えている。

○集団登校が廃止になると、何時から何時まで旗振りをすればいいのか。

⇒○8時～8時15分までに学校へ登校することになっている。ただ、共働き世帯では入社時間の兼ね合いもあり、8時より前に登校させたい保護者もいるので、早く登校する児童がいると思われる。地域情報紙では7時30分～8時までと掲載したが、学校からの距離によって時間が変わるため、臨機応変に対応してもらいたい。

⇒○今までの集団登校なら、一度にまとまって登校するので旗振りが15分ほどで終

わるが、バラバラで来ると時間が掛かり、仕事をしている人にとっては負担がかかると思われる。

○8時より前に登校した児童は学校に入れるのか。

⇒○校舎内には入れないが、校門から校庭に入ることにはできる。横浜市では、早朝の預かりを実施しており、相模原市もそういった制度が出来ると良い。

⇒○「小一の壁」という問題があり、保育園は朝7時から受け入れるのに、小学校では8時からとなってしまう。児童クラブ等のように早朝も受け入れてもらえるよう訴えかけていこうと思う。

### 【高齢者について】

○昼夜関わらず電気が点いている家があり、不審に思い警察に連絡したところ孤独死だと判明した。自治会未加入者かつ75歳未満のため民生委員も把握していない方だったので、誰が住んでいるのかも分からず苦慮した。

⇒○75歳以上は民生委員で把握しているが、毎日見守りをしているわけではないので、孤独死の防止や早期発見は難しい。隣近所が溜まった郵便物や絶えず電気が点いている等の異変に気付いて、自治会長や民生委員、地域包括支援センターに連絡してもらうことで早期発見に繋がると思う。

⇒○自治会員であれば、一週間程度で異変に気付いて発見できると思うが、未加入者は接点がないので発見に一週間以上かかる事例もあるのではないかとと思われる。

⇒○自治会の加入や公民館の行事に参加すると、顔見知りになり社会的な繋がりができていく。どうしたら地域に出て来てもらえるのか考えていく必要がある。

○地域包括支援センターでは電話による安否確認を実施している。始業時間の朝8時30分に電話をかけているが、利用者の中には外出していたり、寝ていたりして電話に出られない方もいる。

(2) 星が丘地区ふるさとまつり・ふれあいフェスティバル～振り返りと今後に向けて～事務局から、星が丘地区ふるさとまつり・ふれあいフェスティバルについて資料に基づき説明した。

○片付けを15時以降と案内していても、15時前に小学校へ来てしまう車を校門前に待機させるのは危険である。体育館側に案内しても良いのではないかと。

⇒○交通安全協会が制服を着て案内すれば、スムーズになると思われる。

⇒○今後は全体的に会場の規模をコンパクトにしたいと考えている。ステージカーの位置を公民館側に寄せられれば、正門側に余裕ができ、車の待機場所が出来ると思われる。

### (3) 令和7年度地区まちづくりを考える懇談会の実施希望等について

竹田会長から、令和7年度地区まちづくりを考える懇談会の実施希望について資料に基づき説明し、実施するかどうか委員に意見を聞いた。

<主な意見・質疑>

○前回の地区まちづくりを考える懇談会は自治会長も参加して良かったと思う。来年度も同じ方法で実施する方向で良いのではないか。

<結果>

令和7年度地区まちづくりを考える懇談会を実施することとし、開催希望月を11月とすることで決定した。

### (4) その他

事務局から令和7年度星が丘地区まちづくり会議について資料に基づき説明した。

また、以下のとおり補足説明をした。

- ・令和6年度まで、相模原交通安全協会は星が丘支部と千代田支部の輪番制で委員を選出していた。
- ・令和7年度から、星が丘支部と千代田支部が統合され1つの支部になるため、相模原交通安全協会の星が丘地区として委員1名の選出をお願いすることになった。

<主な意見・質疑>

○存続できないといった話しは出ていないのか。

⇒○現時点で解散までは至っていない。ただし、免許更新時の収入証紙が廃止されるため財源がなくなる。活動を縮小しつつ、少しでも皆さんと一緒に活動していきたい。

⇒●補足だが、令和7年度は組織や事業を縮小しつつ、警察や市等の関係機関・団体と調整を行い、令和8年度に事業の引継ぎ、解散を見込んでいるという話しも聞く。きっかけは収入証紙だが、平均年齢が80才代という支部もあり、会員の高齢化も深刻な問題である。

○公募委員をどうにか増やせないか。

⇒●今年は星が丘公民館にもチラシを配架し募集を行う。知り合いで興味がある人がいれば積極的に誘って欲しい。

<結果>

令和7年度星が丘地区まちづくり会議も引き続き土曜日の午後に実施し、年に5回の開催で承認された。

## 4 閉 会

以 上

## 星が丘地区まちづくり会議委員出欠席名簿

No.	団 体 等	代表者氏名	団体での役職	出欠席
1	地区自治会連合会	竹田 幹夫◎	会長	出席
2	公民館	後藤 陽子○	館長	出席
3	地区社会福祉協議会	坂本 洋三○	会長	出席
4	地区民生委員児童委員協議会	八木 鉄雄	会長	出席
5	地区青少年健全育成協議会	井上 アヤ子	副会長	欠席
6	星が丘小学校PTA	岡本 浩三	会長	出席
7	青少年指導委員	高畑 由美子	地区長	出席
8	スポーツ推進委員	伊藤 福實	委員	出席
9	健康づくり普及員協議会	長塚 勇一郎	委員	出席
10	地区老人クラブ連合会	石黒 雄彦	会長	出席
11	地域包括支援センター	柳下 恭子	センター長	出席
12	地区交通安全母の会	富倉 亜紀	会長	欠席
13	消防団第4分団第4部後援会	立山 均	会長	出席
14	相模原交通安全協会千代田支部	五十嵐 富士夫	支部長	出席
15	公募	近藤 大助		出席 (Zoom)

※◎、○はまちづくり会議での役職（◎：会長、○：副会長）